



9:45AM

ゴミを空けて1回完了



9:35AM

早くも満杯です

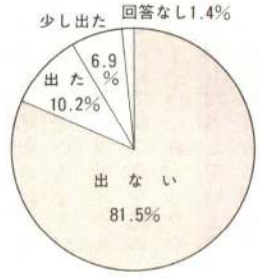
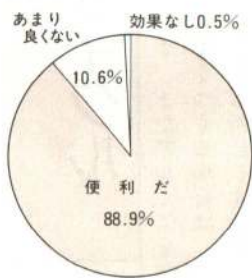
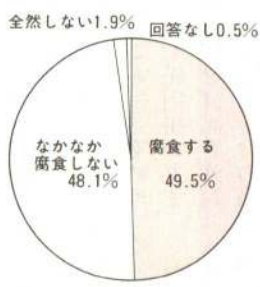
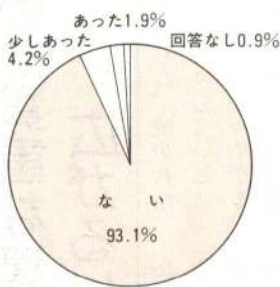


9:25AM

整然としたモデル町内

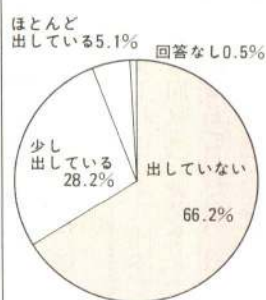
収集車を目にはしていても、実際に作業している所を見ることはなかなかありません。3人1チームでの収集作業を追跡しての感想はただ一言、「ごくろうさま、ありがたう」

コンポスト利用者アンケート (平成3年度 216人回答)



利用のポイント

- ①土をときどき一面に振りかけてやると害虫や悪臭の発生を防ぎます。両面テープの殺虫剤もあります。
- ②発酵を進めるために水切りはきちんと。発酵促進剤は薬局で扱っています。



Q 生ごみを収集に出している?

生ごみは水分を多く含んでいるため、焼却に手間が掛かります。また、猫やカラスがえさを食べようとしてごみ袋を破ってごみをまき散らしたり、悪臭を出すなど、一時預かり所を汚す原因にもなっています。

市では、生ごみを家庭で処理してもらえようと、昭和五十八年度からコンポスト(生ご

み処理器)の購入者に対して助成金の交付を行いました。また、平成二年度からは無償で貸与しています。

コンポストは、ごみを土中のバクテリアの働きによって発酵分解して堆肥に変えるものです。使い方は簡単で、水はけの良い場所の土を耕して容器を地中五十センチに埋め、台所から出る生

ごみや庭の雑草、落ち葉などを中に入れるだけ。出来上がった堆肥は肥料として家庭菜園や花壇に使えます。

これまでの助成・貸与で、市内には二千二百四十個のコンポストが設置されています。各家庭から出されている生ごみは全体量の約三〇%、これを、現在設置しているコンポストで処理すれば、六百七十の生ごみが堆肥として利用されていると推定されます。自然に戻せるものは自然に戻してやるのが、ごみ減量の大きな力になります。

野菜の出来が

よかったです



工藤フヂエさん (谷地町後)

台所の生ごみを毎日コンポストに入れるのが日課のようになっていきます。おかげでごみとして出す生ごみは大分減りました。去年の七月ころからコンポストを利用するようになって、今年ほどきた堆肥を庭先の畑に使ってみたんです。コンポストから取り出すときは、家の若いものたちが臭いって騒ぎましたね。でも野菜の出来はいつもよりずいぶん良くなったんですよ。これからも利用しますが、虫がわくのとおいがでるのを防ぐ工夫をしたいと思っています。